

令和 4 年 6 月 20 日現在

機関番号：12601

研究種目：新学術領域研究（研究領域提案型）

研究期間：2016～2020

課題番号：16H06407

研究課題名（和文）パレオアジア文化史学研究の連携推進と総括および成果発信

研究課題名（英文）Steering and Management of the PaleoAsia Project

研究代表者

西秋 良宏（Nishiaki, Yoshihiro）

東京大学・総合研究博物館・教授

研究者番号：70256197

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 59,900,000円

研究成果の概要（和文）：研究領域『パレオアジア文化史学』は、絶滅人類が生息していたアジア（パレオアジア）に新人が拡散した際に生じた文化交替の実態、メカニズムを実証的、理論的に明らかにすることを目指した研究プロジェクトである。総括班においては、領域に参加した多数の異分野研究者が融合的な連携研究を推進できるよう積極的なマネジメントを実施した。具体的には研究大会の定期的開催、領域出版物の刊行、国際研究集会の企画、進捗状況の評価・助言等であり、成果は大量の国際的な共著論文、書籍として刊行することができた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

アフリカで生まれたホモ・サピエンス（新人）のユーラシア進出を探る研究は、従来、ヨーロッパを中心に、また主として生物学的観点からすすめられてきた。これに対し、本研究では、不明の点が多いアジアをフィールドとして文化史的観点から実態解明に取り組んだ。特に重要なのは、新人が各地で形成した新たな文化の創出プロセスや、その多様性を数理科学、理論人類学など従来の考古学では活用されていなかった分野を融合させて解釈したことである。また、大量の英文出版物が生産され国際的に高い評価を得たことも、総括班の実効的な運営のたまものだと考える。

研究成果の概要（英文）：The processes of the dispersals of anatomically modern humans into regions of Eurasia represent one of the most intensively debated issues among paleoanthropologists and archaeologists today. The PaleoAsia project aimed to contribute to our better understanding of these processes in Asia from cultural perspectives. Particularly unique in this project is its emphasis on theoretical modelling as well as traditional archaeological and environmental field investigations. The steering committee made efforts to achieve integration of the research results produced from varied project members using their own different disciplines. The efforts eventually resulted in a large number of interdisciplinary research papers and books including many in English.

研究分野：先史考古学

キーワード：考古学 ホモ・サピエンス 人類進化 旧石器時代 文化史

### 1. 研究開始当初の背景

近年の急速な人類学的研究の進展によって、解剖学的な新人、すなわち我々ホモ・サピエンスは20万年以上も前のアフリカ大陸で誕生したことが判明した。新人は10～5万年前以降にはユーラシア各地へ拡散を開始し、先住者たる旧人たちと交替し現在にいたったとされる。

これは生物学的な新人の起源に関する説明である。では、新人「文化」の起源はどうか。研究蓄積が豊富なヨーロッパでは、アフリカからの拡散起点となった西アジア起源の文化が広がったことが判明しているが、広大なアジア大陸における実態は謎につつまれている。断片的研究によれば、新人拡散期にあっても、なお旧来の文化が継続した例が中央アジア以東各地、特に、中国南部や東南アジアなどで繰り返し指摘されている。新たなヒト集団が拡散したはずなのに、なぜ、文化が変化しない（ように見える）地域があるのか。このパラドックスは、ヨーロッパ偏重の新人拡散研究においては全く説明されていない。単純な回答は集団間に交雑・交流があったというものであろう。しかし、なぜ一部では一気に文化が交替し、一部地域では交流がより進んだのかを説明する必要がある。そのメカニズムの解明は未着手であった。

### 2. 研究の目的

本領域は、絶滅人類が生息していたアジア（パレオアジア）に新人が拡散した際に生じた文化の交替劇の実態、メカニズムをあきらかにすることを目的とした。すなわちアジアにおける新人文化形成プロセスの地理的変異や特質を実証的、理論的に明らかにし、もって、生物学、ヨーロッパ中心の研究動向に新知見を提示し、より総合的な人類史理解に寄与することを目途とした。

特に注目したのは、アジアでは新人・旧人の生物学的な交替と文化の交替との間で進展速度や交雑交流の程度などに、ヨーロッパではみられない多様なパターンがあった可能性である。新人が進出していたはずなのに石器文化が交替したようには見えない地域すら認められる。そうした実態をアジア各地の広域的比較研究をとおして定め、その意味を論じることを目論だ。意味を論じるにあたっては、厳密な数理学的研究を導入し、人文学と数学が融合した新学術領域の創出をめざすこととした。

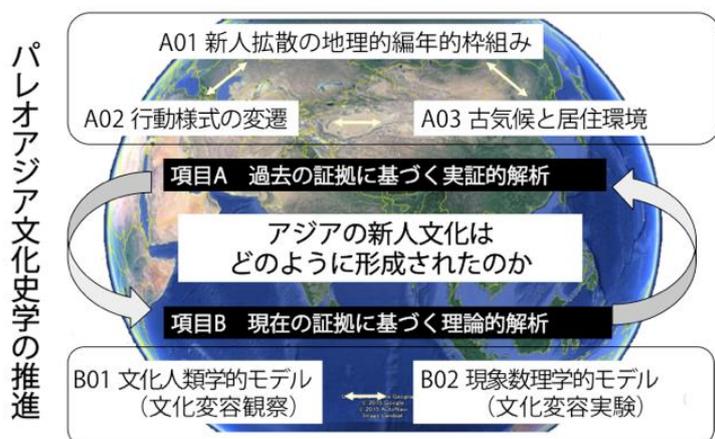
総括班は上述の本領域全体目標を達成するため、各計画研究班による個別研究、連携研究を有効に進展させ、その成果としてパレオアジア文化史学を内外に提示すべく運営をすすめた。

### 3. 研究の方法

本領域は、物的証拠に基づいてアジアにおける新人の拡散と文化形成過程の具体像を調べる項目Aと、そこで明らかになった多様性が生じた背景を理論的に説明する項目Bで構成した(下図)。項目Aにおいては、新人が各地に出現・定着し、旧人が絶滅した時期や経緯を考古学的・人類学的証拠を用いて定義し(A01)、新人の定着と新人文化形成プロセスの地理的変異を明らかにし(A02)、そうした変異が特定の環境条件と相関して形成された可能性を解析する(A03)。これらの研究のためアジア各地で組織的な共同野外調査、文献調査を実施する。項目Bでは、それら実証的記録で定義される「交替劇」の多様性を現代における文化人類学的理論と民族誌データから説明できないか(B01)、現象数理学的モデルで説明できないか検証し(B02)、アジア新人文化形成プロセスの特質を解明する。

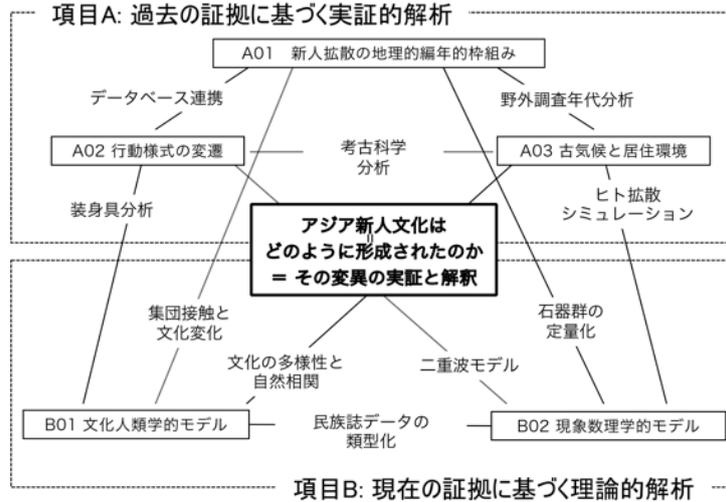
総括班においては、(1)これらの研究を有機的に連携させるための機会を設けること、(2)各計画研究班が活用できる共用データベースのプラットフォームを構築すること、(3)研究成果を統括し、その内

外への発信を支援すること、(4)研究進捗状況を領域の研究目標に照らして評価すること、(5)評価に即した研究企画調整、指導をおこなうこととした。



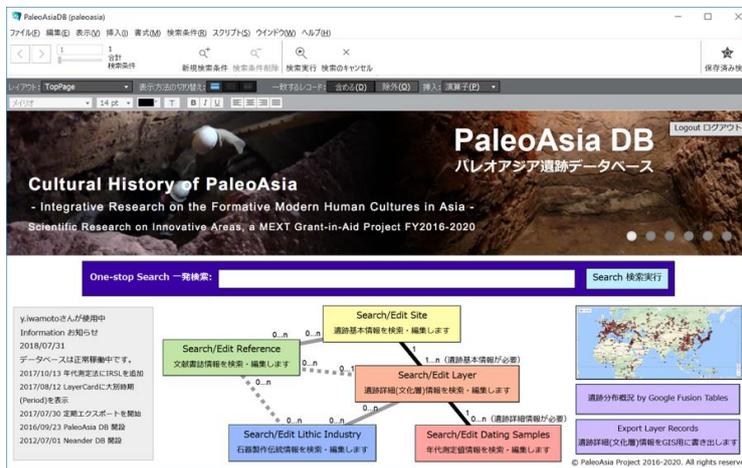
#### 4. 研究成果

##### (1) 連携研究の推進



例である。その多くにおいて異分野研究者が共著論文を發表することに成功した。

##### (2) 共用データベースのプラットフォーム構築

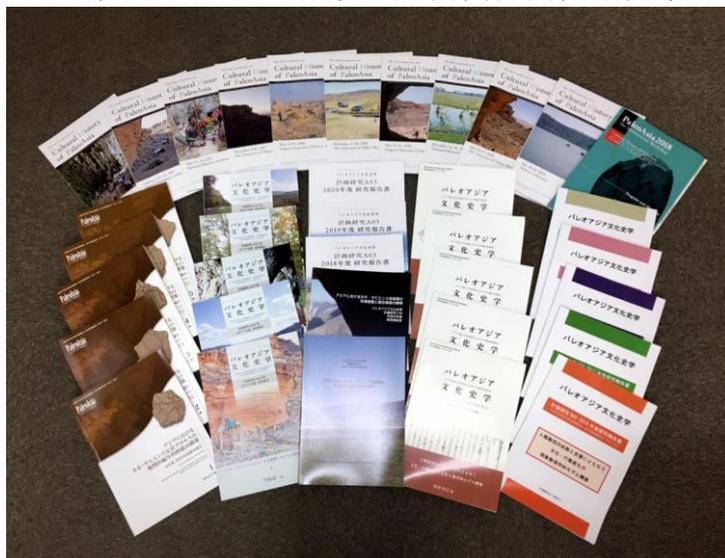


世界初の大規模旧石器遺跡データベースであり、その活用は領域の連携研究促進に欠かせないものとなった。

##### (3) 研究成果の統括と、その内外への発信支援

先述の研究大会は成果発信の重要な機会となったが、これに加えて、各計画研究班でも公開シンポジウム、研究会、講演会等の研究集会を積極的に開催するよう指導した。また、各班には年度ごとに成果報告の作成を義務づけ、研究成果、進捗状況の自己評価の機会とした。

研究集会で刊行される出版物(要旨集、資料集等)、各班の年度報告書などを一元的に管理し、



毎年、2回、5年間で10回の研究大会を主催した。そこでは計画研究代表者、研究分担者、公募研究者ら、領域内研究者全員が研究の進捗状況、成果を發表し、意見交換、連携研究を推進する機会を設けた(全197口演、173ポスター發表)。

この研究大会は一般公開し、社会・国民への発信の場にも活用した。また、各班連携の野外調査の企画、調整の場ともした。

これらの取組の結果、各計画研究間の連携、融合が飛躍的に進展した。上図は、新たに生まれた連携研究テーマの主たる

本研究を通じて生成される大量のデータを管理し、各計画研究班が利用できる環境を整えた。そのための環境を情報科学の専門家とともに構築した。具体的には、計画研究A01が構築するパレオアジア・データベース(PaleoAsiaDB)の設計にかかわり、他の計画研究関係者も利用できるプラットフォームを作成したことである。それは遺跡総数3391、文化層数7547、登載項目数延べ72(出土物、化石人骨、年代など)にのぼる世

界初の『PaleoAsia Project Series』と命名したこの領域出版物は、全36巻に達した(下図:和文25巻、和英11巻。A4総ページ数3154)。それらは全てホームページにおいてオープンアクセスとして公開した。

また、研究大会とは別に国際会議を含む公開研究会・講演会を全部で22回実施し、博物館等における展覧会形式の成果發表6回を実現した。

#### (4) 研究進捗状況の評価と助言

総括班には関係分野に通じた国内外の研究者が評価担当として加わり、研究大会、公開シンポジウムなどを聴取したうえで、出版物等の評価を実施し、結果を総括班会議（総括班代表者・分担者・連携研究者・研究協力者）において報告した。それをふまえて、領域全体の研究の進捗状況を把握し、必要な助言などをおこなった。

本領域の事後評価において「A+（研究領域の設定目的に照らして、期待以上の成果が上がった）」との最高評点を得たのは、上記のような総括班の活動が貢献しているものと自己評価する。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計94件（うち査読付論文 58件 / うち国際共著 45件 / うちオープンアクセス 30件）

1. 著者名 Hirose Masato, Naito Yuichi I., Kadowaki Seiji, Arai Saiji, Guliyev Farhad, Nishiaki Yoshihiro	4. 巻 36
2. 論文標題 Investigating early husbandry strategies in the southern Caucasus: intra-tooth sequential carbon and oxygen isotope analysis of Neolithic goats, sheep, and cattle from Goytepe and Haci Elamxanlı Tepe	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Journal of Archaeological Science: Reports	6. 最初と最後の頁 102869 ~ 102869
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jasrep.2021.102869	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Miki, T., Kondo, Y., Kuronuma, T., Kitagawa H. and Noguchi A.	4. 巻 21
2. 論文標題 Bronze Age vessel remains from the cave of Mugharat al Kahf in the Wadi Tanuf: a preliminary report of the 2017/18 and 2018/19 seasons	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 The Journal of Oman Studies	6. 最初と最後の頁 128-143
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Nishiaki Yoshihiro, Aripdjanov Otabek, Arai Saiji, Akashi Chie, Nakata Hiroto, Sayfullayev Bakhtiyor, Ergashev Odil, Suleimanov Rustam	4. 巻 30
2. 論文標題 Neolithization during the 6th millennium BCE in western Central Asia: New evidence from Kaynar Kamar Rockshelter, Hissar Mountains, Southeast Uzbekistan	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Archaeological Research in Asia	6. 最初と最後の頁 100352 ~ 100352
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ara.2022.100352	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Itahashi Yu, Ananyevskaya Elina, Yoneda Minoru, Ventresca Miller Alicia R., Nishiaki Yoshihiro, Motuzaitė Matuzeviciute Giedre	4. 巻 33
2. 論文標題 Dietary diversity of Bronze-Iron Age populations of Kazakhstan quantitatively estimated through the compound-specific nitrogen analysis of amino acids	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Archaeological Science: Reports	6. 最初と最後の頁 102565 ~ 102565
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jasrep.2020.102565	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Odaka, T., O. Maeda, K. Shimogama, Y. S. Hayakawa, Y. Nishiaki, N. A. Mohammed, and K. Rasheed	4. 巻 2020
2. 論文標題 Late Neolithic in the Shahrizor Plain, Iraqi Kurdistan: New excavations at Shakar Tepe, 2019	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Neo-Lithics	6. 最初と最後の頁 53-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki Yoshihiro	4. 巻 87
2. 論文標題 The Pre-Pottery Neolithic Water-well at Tell Seker al-Aheimar, Upper Mesopotamia: The Social Contexts of its Construction and Management	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Proceedings of the Prehistoric Society	6. 最初と最後の頁 161 ~ 172
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/ppr.2021.3	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki Yoshihiro, Aripdjanov Otabek	4. 巻 596
2. 論文標題 A new look at the Middle Paleolithic lithic industry of the Teshik-Tash Cave, Uzbekistan, West Central Asia	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 22 ~ 37
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2020.11.035	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki Yoshihiro, Tamura Kohei, Suzuki Miho, Nakamura Mitsuhiro, Kato Shinji, Nakagawa Kazuya, Takakura Jun, Yamaoka Takuya, Noguchi Atsushi, Kondo Yasuhisa, Kobayashi Yutaka	4. 巻 596
2. 論文標題 Spatiotemporal variability in lithic technology of Middle-to-Upper Paleolithic Asia: A new dataset and its statistical analyses	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 144 ~ 154
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2021.03.022	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki Yoshihiro, Kadowaki Seiji	4. 巻 596
2. 論文標題 Variability in Lithic Production Technology during the Range Expansion of Paleolithic Modern Humans: Asian Perspectives	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 1~3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2021.06.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki Yoshihiro, Zeynalov Azad, Munsrov Mansur, Guliyev Farhad	4. 巻 64
2. 論文標題 RADIOCARBON CHRONOLOGY OF THE MESOLITHIC-NEOLITHIC SEQUENCE AT DAMJILI CAVE, AZERBAIJAN, SOUTHERN CAUCASUS	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Radiocarbon	6. 最初と最後の頁 309 ~ 322
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1017/RDC.2022.12	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki, Y., G. Abudl-Aziz, and N. Inutake	4. 巻 42
2. 論文標題 Restoration of a unique Neolithic clay female figurine from Tell Seker Al-Aheimar, Northeast Syria	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Rafidan	6. 最初と最後の頁 1-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kuronuma, Taichi; Takehiro Miki; Yasuhisa Kondo	4. 巻 22
2. 論文標題 A Bronze- and Iron Age cemetery at Wadi Tanuf, Ad-Dakhiliyah: A preliminary report of years 2019-2020 survey	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 The Journal of Oman Studies	6. 最初と最後の頁 99-125
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki, Y. O. Maeda, T. Kannari, M. Nagai, E. Healey, F. Guliyev and S. Campbell	4. 巻 61(4)
2. 論文標題 Obsidian provenance analyses at Goytepe, Azerbaijan: Implications for understanding Neolithic socioeconomies in the Southern Caucasus.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Archaeometry	6. 最初と最後の頁 765-782
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1111/arc.12457	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki, Y., A. Zeynalov, M. Mansrov, C. Akashi, S. Arai, K. Shimogama, and F. Guliyev	4. 巻 19
2. 論文標題 The Mesolithic-Neolithic interface in the Southern Caucasus: 2016-2017 excavations at Damjili Cave, West Azerbaijan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Archaeological Research in Asia	6. 最初と最後の頁 100140
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ara.2019.100140	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 巻 2
2. 論文標題 Neolithic-Chalcolithic transition in Southwest Iran: Examining blade production technology at Tall-i Bakun B, Fars.	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Archaeology, Iran	6. 最初と最後の頁 1-4
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 赤司千恵・門脇誠二・F. キリエフ・西秋良宏	4. 巻 28-2
2. 論文標題 アゼルバイジャンにおけるヨモギ属 ( <i>Artemisia</i> spp.) 利用史	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 植生史研究	6. 最初と最後の頁 59-70
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 赤司千恵・西秋良宏・F. キリエフ	4. 巻 28-2
2. 論文標題 巻頭写真：ギョイトペ遺跡（アゼルバイジャン・日本による共同発掘調査）	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 植生史研究	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 近藤康久	4. 巻 23
2. 論文標題 オープンサイエンスとオープンガバナンスの倫理的諸問題	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 社会と調査	6. 最初と最後の頁 43-51
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yasuhisa Kondo, Akihiro Miyata, Ui Ikeuchi, Satoe Nakahara, Ken'ichiro Nakashima, Hideyuki Onishi, Takeshi Osawa, Kazuhiko Ota, Kenichi Sato, Ken Ushijima, Bianca Vienni Baptista, Terukazu Kumazawa, Kazuhiro Hayashi, Yasuhiro Murayama, Noboru Okuda, Hisae Nakanishi	4. 巻 39
2. 論文標題 Interlinking open science and community-based participatory research for socio-environmental issues	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Current Opinion in Environmental Sustainability	6. 最初と最後の頁 54-61
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1016/j.cosust.2019.07.001	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki Y., Maeda O., Kannari T., Nagai M., Healey E., Guliyev F., Campbell S.	4. 巻 61
2. 論文標題 Obsidian provenance analyses at Goytepe, Azerbaijan: Implications for understanding Neolithic socioeconomies in the southern Caucasus	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Archaeometry	6. 最初と最後の頁 765 ~ 782
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1111/arcn.12457	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 巻 special issue
2. 論文標題 Jezla: An Early-Middle Bronze Age site complex in the Middle Euphrates steppe, North Syria	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Orient, Mikasa Volume	6. 最初と最後の頁 21-30
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki, Y., O. Aripdjanov, B. Sayfullayev, O. Engeshed, E. Grodeeva, H. Nakata, S. Arai, A. Noguchi, and R. Suleymanov	4. 巻 40
2. 論文標題 Prehistoric caves and rockshelters in the Machay Valley, Surkhandarya, South Uzbekistan (II).	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Rafidan	6. 最初と最後の頁 9-18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 NISHIAKI Yoshihiro	4. 巻 53
2. 論文標題 The Late Halafian Lithic Industry of Tell Kashkashok I, the Upper Khabur, Syria	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Orient	6. 最初と最後の頁 1~21
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.5356/orient.53.1	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki, Y. and H. Darabi	4. 巻 16
2. 論文標題 The Earliest Neolithic Lithic Industries of the Central Zagros: New Evidence from East Chia Sabz, Western Iran	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Archaeological Research in Asia	6. 最初と最後の頁 46-57
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ara.2018.02.002	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki, Y., M. H. Taheri and A. Sardari	4. 巻 55
2. 論文標題 Lithic industry of the Early Chalcolithic in the southern Zagros: New insights from the Middle Bakun site of Tal-e Mash Karim, Iran.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Ancient Near Eastern Studies	6. 最初と最後の頁 125-141
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2143/ANES.55.0.3284688	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Akashi, C., K. Tanno, F. Guiliev, and Y. Nishiaki	4. 巻 44(2)
2. 論文標題 Neolithisation processes of the South Caucasus: as viewed from macro-botanical analyses at Hacı Elamxanlı Tepe, west Azerbaijan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Paleorient	6. 最初と最後の頁 75-89
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Motuzaitė Matuzeviciute, G., A. Abdykhanova, S. Kume, Y. Nishiaki, and K. Kubatbek Tabaldiev	4. 巻 20
2. 論文標題 The effect of geographical margins on cereal grain size variation: case study for highlands of Kyrgyzstan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Archaeological Sciences: Reports	6. 最初と最後の頁 410-410
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.jasrep.2018.04.037	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Romagnoli, F., Y. Nishiaki, F. Rivals, and M. Vaquero	4. 巻 474
2. 論文標題 Time uncertainty, site formation processes, and human behaviours: new insights on old issues in high-resolution archaeology.	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 99-102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2018.04.033	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki, Y., F. Guliyev, S. Kadowaki, and T. Omori	4. 巻 474
2. 論文標題 Neolithic residential patterns in the southern Caucasus: Radiocarbon analysis of rebuilding cycles of mudbrick architecture at Goytepe, west Azerbaijan	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Quaternary International	6. 最初と最後の頁 119-130
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.quaint.2017.09.015	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki, Y. O. Aripdjanov, A. Rajabov, B. Sayfullayev, H. Nakata, S. Arai, and C. Akashi	4. 巻 38
2. 論文標題 Prehistoric caves and rockshelters in the Machay Valley, Surkhandarya, South Uzbekistan	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Rafidan	6. 最初と最後の頁 31-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki, Y., M. Yoneda, Y. Kanjou and T. Akazawa	4. 巻 43 (2)
2. 論文標題 Natufian in the north: The Late Epipalaeolithic cultural entity at Dederiyeh Cave, northwest Syria	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Paleorient	6. 最初と最後の頁 7-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 西秋良宏	4. 巻 46
2. 論文標題 西アジア発、『新石器革命』とその拡散	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 西洋史研究	6. 最初と最後の頁 121-131
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 有光秀行・浦野聡・西秋良宏・太田博樹・米田穰・中山一大	4. 巻 46
2. 論文標題 ゲノム研究は歴史を変える 西ユーラシアの農耕-牧畜・移動-定住研究の現在	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 西洋史研究	6. 最初と最後の頁 172-189
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 西秋良宏	4. 巻 141
2. 論文標題 現生人類到来以前の西アジア	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 季刊考古学	6. 最初と最後の頁 21-24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 林 和弘・宇高寛子・近藤康久	4. 巻 67
2. 論文標題 二つのオープンサイエンス、その合流点にある地球研	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 地球研ニュース	6. 最初と最後の頁 7-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 近藤康久	4. 巻 708
2. 論文標題 データサイエンスと旧石器研究	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 考古学ジャーナル	6. 最初と最後の頁 16-19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 巻 38
2. 論文標題 Domestic flake production technology of the Early Bronze Age in Upper Mesopotamia: Tell Ghanem Al-Ali (Syria) and Telul eth-Thalathat V (Iraq)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Rafidan	6. 最初と最後の頁 47-53
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Nishiaki, Y., O. Aripdjanov, R. Soleymanov, A. Rajabov, H. Nakata, T. Miki, and S. Arai	4. 巻 30
2. 論文標題 An archaeological reconnaissance survey of caves and rockshelters in the Kashkadarya Valley, South Uzbekistan, 2014.	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Bulletin of the Ancient Orient Museum	6. 最初と最後の頁 1-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 巻 18
2. 論文標題 Techno-typological observations on the flaked stone industry of the early Neolithic settlement of Ganj Dareh, Iran.	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 SENEPSE: The Neolithic of the Iranian Plateau. Recent Research	6. 最初と最後の頁 189-208
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計336件 (うち招待講演 40件 / うち国際学会 116件)

1. 発表者名 Miki, Takehiro; Taichi Kuronuma; Hiroyuki Kitgawa; Yasuhisa Kondo
2. 発表標題 An excavation of the cave site Mughara al-Kahf, Wadi Tanuf, Oman: Towards understanding of human activities of the Wadi Suq period
3. 学会等名 2021 ASOR Annual Meeting Virtual Component (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Kuronuma, Taichi; Takehiro Miki; Yasuhisa Kondo
2. 発表標題 Mortuary landscape and social mobility in Wadi Tanuf (Oman) during the 2nd and 1st millennia B.C.E.
3. 学会等名 2021 ASOR Annual Meeting Virtual Component (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Management of The University Museum, The University of Tokyo, Japan.
3. 学会等名 AUA Academic Conference on Co-Curating Flipped Museums for Asian Civilization: A Blended Research and Teaching Approach. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Kondo, Y.
2. 発表標題 Interdisciplinary challenges of the Cultural History of PaleoAsia project and its database development: Lessons learnt
3. 学会等名 Human Origins - Digital Future (HODiF) ROCEEH Online Conference 2020 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Miki, Takehiro; Taichi Kuronuma; Hiroyuki Kitagawa; Yasuhisa Kondo
2. 発表標題 Development of Cultural Landscapes in the Canyon of Al-Hajar mountains: Survey and Excavation at Wadi Tanuf 2019-2020
3. 学会等名 Seminar for Arabian Studies 2021 (国際学会)
4. 発表年 2021年

1 . 発表者名 Kuronuma, Taichi; Takehiro Miki; Yasuhisa Kondo
2 . 発表標題 Archaeological surveys of canyon and floodplains in the Tanuf district, Central Oman: Methodology and applications
3 . 学会等名 Surveying Oman - Methods of Archaeological Exploration in Eastern Arabia (国際学会)
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Odaka, T., O. Maeda, K. Shimogama, Y. S. Hayakawa, Y. Nishiaki, N. A. Mohammed and K. Rasheed
2 . 発表標題 Investigating the Late Neolithic in the Shahrizor Plain, Iraqi Kurdistan: Excavations at Shakar Tepe, the first season (2019)
3 . 学会等名 The 12th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East (国際学会)
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Nishiaki, Y.
2 . 発表標題 Chalcolithic lithic industries of the fifth millennium BC in Fars, south Iran.
3 . 学会等名 The 12th International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East (国際学会)
4 . 発表年 2021年

1 . 発表者名 Ishiyama, S., H. Nawata, H. Mikuni, and Y. Nishiaki
2 . 発表標題 Using scientific results to benefit local people by working together at In Belbel Oasis, Algeria: In accordance with the will of the late Professor Iwao Kobori, the Japanese human geographer.
3 . 学会等名 The International Conference on Anthropology and Geography: Dialogues Past, Present and Future (国際学会)
4 . 発表年 2020年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Comments on Session 49
3. 学会等名 The International Conference on Anthropology and Geography: Dialogues Past, Present and Future (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Neolithic lithic industries of West Zagros.
3. 学会等名 The International Congress on the Revisiting the Hilly Flanks (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Guliyev, F. and Y. Nishiaki
2. 発表標題 Excavations of the Neolithic site of Goytepe, azerbaijan
3. 学会等名 The International Workshop "The Neolithic Transition in the Caspian Sea Regions (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Arai, S. and Y. Nishiaki
2. 発表標題 Faunal remains of the Mesolithic-Neolithic sites in the South Caucasus.
3. 学会等名 The International Workshop "The Neolithic Transition in the Caspian Sea Regions (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 デデリエ洞窟の資料
3. 学会等名 アインダーラ文化財セミナー（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 中央ザグロス地方の新石器化と石器分析
3. 学会等名 ザグロス山麓先史考古学プロジェクト第1回研究会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 新人のアジア拡散を調べるためのデータベース
3. 学会等名 パレオアジア文化史学 総括講演会「アジアの新人文化はどのように形成されたか？」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 趣旨説明
3. 学会等名 パレオアジア文化史学 総括講演会「アジアの新人文化はどのように形成されたか？」
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小林 豊・田村光平・鈴木美保・中村光宏・加藤真二・中川和哉・高倉 純・山岡拓也・野口 淳・近藤康久・西秋良宏
2. 発表標題 パレオアジアモード存在・非存在データの探索的統計解析
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第10回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 開会挨拶
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第10回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 パレオアジアDBの構築について
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第10回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 近藤康久・三木健裕・黒沼太一・北川浩之
2. 発表標題 南東アラビア山麓峡谷における人類の定着と環境：4年間のまとめと今後の展望
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第10回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 小林 豊・田村光平・鈴木美保・中村光宏・西秋良宏
2. 発表標題 パレオアジアデータベースを用いた探索的分析の概略
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 中央アジア西部の中期旧石器時代石器群 - テシクタシュ洞窟出土資料を中心に
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 出穂雅実・門脇誠二・太田博樹
2. 発表標題 北東アジアにおける現生人類拡散プロセスのいくつかの問題：最初のアメリカ人に関する研究の進展から
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 中沢 隆・大澤桃子・犬塚ま子・門脇誠二・西秋良宏
2. 発表標題 動物の考古遺体から抽出したコラーゲンの質量分析による経年劣化状況の解析
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第9回研究大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 ホモ・サビエンスの拡散と旧人 ヒトと文化の交替劇
3. 学会等名 移動の価値とモビリティの未来セミナー
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西秋良宏・O.アリプジャノフ
2. 発表標題 中央アジア山岳地帯の新石器時代 ウズベキスタン、カイナル・カマル遺跡の調査（2012-2019年）
3. 学会等名 考古学が語る古代オリエント-第29回西アジア発掘調査報告会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 近藤康久・三木健裕・黒沼太一
2. 発表標題 南東アラビア前2千年紀ワディ・スーク文化の再検討：ハジャル山脈南麓タヌーフ峡谷での調査から
3. 学会等名 西アジアにおける先史遊牧民と古代文明の成立
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 西秋良宏・O.アリプジャノフ
2. 発表標題 北ユーラシアの旧人・新人交替劇 ウズベキスタン旧石器遺跡調査（2012-2019年）
3. 学会等名 第28回西アジア発掘調査報告会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西秋良宏・F. キリエフ・A. ザイナロフ
2. 発表標題 南コーカサス地方の新石器時代 アゼルバイジャン発掘調査2008-2019年
3. 学会等名 第28回西アジア発掘調査報告会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 中沢隆・大澤桃子・門脇誠二・西秋良宏
2. 発表標題 南ヨルダン・Tor Hamar遺跡から出土した2万年前の動物歯コラーゲンの質量分析によるガゼルの同定
3. 学会等名 第94回日本生化学会大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 知らない人々と暮らす仕組み：考古学的な見方
3. 学会等名 東京大学教養学部フロンティア講義（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 西アジアと中央アジアの先史時代
3. 学会等名 東京大学総合研究博物館ボランティア講演会（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 門脇誠二・池谷和信・近藤康久
2. 発表標題 南ヨルダン、カルハ山の旧石器遺跡群近郊の水場に関する民族誌調査と地形解析
3. 学会等名 日本オリエント学会第63回年次大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 小高敬寛・前田 修・下釜和也・早川裕弐・西秋良宏・ナシルワンA ムハンマド・カマル ラシード・西秋良宏
2. 発表標題 イラク・クルディスタン、シャカル・テベ遺跡の後期新石器時代層
3. 学会等名 日本オリエント学会第62回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 門脇誠二・池谷和信・近藤康久
2. 発表標題 南ヨルダン、カルハ山の旧石器遺跡群近郊の水場に関する民族誌調査と地形解析
3. 学会等名 日本オリエント学会第63回年次大会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 犬塚ま子・苅野茉央・大澤桃子・門脇誠二・西秋良宏・中沢 隆
2. 発表標題 新石器時代の動物骨に残存するI型コラーゲンの質量分析によるヒツジとヤギの種の判定
3. 学会等名 日本生化学会第93回大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 池山史華・大沼克彦・F. キリエフ・西秋良宏
2. 発表標題 南コーカサス地方新石器時代における、槌子式押圧剥離法による黒曜石製石刃製作技術と その変異 - ギョイテベ遺跡及びハッジ・エラムハンル・テベ遺跡資料の分析を中心に -
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第25回総会・大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 宮田佳樹・下釜和也・堀内晶子・宮内信雄・新井才二・赤司千恵・吉田邦夫・V. アラクバロフ・西秋良宏・F. キリエフ
2. 発表標題 南コーカサス新石器時代土器の脂質分析 - 土器の機能と乳利用の有無をめぐって -
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第25回総会・大会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Yasuhisa Kondo
2. 発表標題 Mapping possible migration routes of early modern humans through an integrative spatial analysis of archaeological and palaeoecological data
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2020年大会（国際学会）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 The Palaeolithic diffusion of pressure technology from the Far East to the Near East
3. 学会等名 The International Congress -The East 1（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Issues on the early farming societies in the South Caucasus
3. 学会等名 International workshop: Early Farming Societies of the Southern Caucasus—10 Years of Archaeological Discoveries of Japanese and French Expeditions (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 シリアからコーカサスへ：1万年前の社会変革
3. 学会等名 岡山市立オリエン特美術館特別講演会（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 南コーカサス地方中期旧石器時代石器群の編年と系統
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第24回総会・大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 領域代表挨拶
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 西アジア中期旧石器時代の石刃について
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 廣瀬允人・内藤裕一・門脇誠二・新井才二・西秋良宏
2. 発表標題 安定同位体分析を用いた南コーカサス初期農耕社会における家畜利用の考察
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第24回総会・大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 池山史華・F. キリエフ・西秋良宏
2. 発表標題 南コーカサス地方新石器時代における押圧石刃生産技術の検討 - ギョイトペ遺跡出土資料の分析を中心に
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第24回総会・大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 金成太郎・F. キリエフ・西秋良宏
2. 発表標題 南コーカサス、クラ川中流域における新石器時代の黒曜石利用
3. 学会等名 第36回日本文化財科学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 宮田佳樹・下釜和也・堀内晶子・宮内信雄・新井才二・赤司千恵・吉田邦夫・V. アラクバロフ・西秋良宏・F. キリエフ
2. 発表標題 ギョイテベ遺跡出土土器の脂質分析-コーカサス初期農耕民の乳利用
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第24回総会・大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大澤桃子・中沢 隆・新井才二・門脇誠二・西秋良宏
2. 発表標題 旧石器時代と新石器時代の動物骨と歯に含まれるコラーゲンの質量分析による動物種の判定
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第24回総会・大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 澤藤りかい・若林 賢・覚張隆史・勝村啓史・小川元之・内藤裕一・木村亮介・石田 肇・西秋良宏・太田博樹
2. 発表標題 アゼルバイジャンの古人骨ゲノム解析(予報)
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Akashi, C., A. Zeynalov, M. Mansurov, F. Guiliev, and Y. Nishiaki
2. 発表標題 Farmers or gatherers? The first archaeobotanical study on the Mesolithic South Caucasus
3. 学会等名 The 18th International Work Group on Palaeoethnobotany (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 中沢 隆・大澤桃子・門脇誠二・西秋良宏
2. 発表標題 新・旧石器時代の動物遺体に含まれるコラーゲンの質量分析のための新規化学処理法
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 閉会挨拶
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 みんなの矢と槍
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 「Modeとは何か」
3. 学会等名 『文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研2016-2020：パレオアジア文化史学B02・A01研究会』
4. 発表年 2019年

1 . 発表者名 Nishiaki, Y.
2 . 発表標題 Introduction.
3 . 学会等名 International Workshop on the Neolithic of Anatolia. The Turkish Ministry of Culture and Tourism and the University of Tokyo, (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Nishiaki, Y.
2 . 発表標題 Introduction
3 . 学会等名 The 9th International Conference on the PPN Chipped and Ground Stone Industries of the Near East (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Nishiaki, Y.
2 . 発表標題 A Levantine view to Jomon culture of the Japanese Archipelago
3 . 学会等名 The 9th International Conference on the PPN Chipped and Ground Stone Industries of the Near East (招待講演) (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Nishiaki, Y.
2 . 発表標題 Dispersals of the Anatolian Neolithic to the North
3 . 学会等名 Workshop on the Neolithic of Anatolia (国際学会)
4 . 発表年 2019年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Kaynar Kamar, a new Mesolithic-Neolithic site in south Uzbekistan.
3. 学会等名 Special Seminar at Berlin Free University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Nishiaki, Y., A. Zeynalov, M. Mansurov, and E. Babazade
2. 発表標題 The Mesolithic and Neolithic flaked stone assemblages from Damjili Cave, west Azerbaijan
3. 学会等名 The 9th International Conference on the PPN Chipped and Ground Stone Industries of the Near East (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 赤司千恵・M. マンスーロフ・A. ゼイナロフ・西秋良宏
2. 発表標題 洞窟遺跡における植物利用：ダムジリ遺跡の事例（アゼルバイジャン）
3. 学会等名 第34回日本植生史学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 ネアンデルタール人の西アジアへの拡散と気候変動
3. 学会等名 気候変動と古代西アジア - 古気候から探る文化・文明の興亡 (招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 犬塚ま子・伊藤優貴・苅野茉央・山田里奈・藪中 遥・門脇誠二・西秋良宏・中沢 隆
2. 発表標題 質量分析による新石器時代の動物骨中のアミノ酸配列解析と動物種の同定
3. 学会等名 日本生化学会第92回大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小林豊, 中村光宏, 若野友一郎, 青木健一
2. 発表標題 popularity spectrumの理論と文化の0,1データへの応用について
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 北川浩之・山根雅子
2. 発表標題 乾燥地域の定量的な気候復元 ジブサム水和水の酸素・水素同位体比
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 近藤康久・三木健裕・黒沼太一・北川浩之
2. 発表標題 オマーン、ワディ・タヌーフ1号洞穴の試掘結果と年代について
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yasuhisa Kondo, Yoko Iwamoto
2. 発表標題 Network analysis of an archaeological research project: A graphical monitoring of the developing interdisciplinary co-authorship of the PaleoAsia project
3. 学会等名 47th Annual Conference of Computer Applications and Quantitative Methods in Archaeology (CAA) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 近藤康久, 大西秀之, 池内有為, 中島健一郎
2. 発表標題 パレオアジア各分野の研究観に関するオンサイト調査
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第7回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yasuhisa Kondo
2. 発表標題 Ethical issues in open science
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2019年大会 (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 近藤康久
2. 発表標題 先史考古学の海外調査：学際新領域へのチャレンジ
3. 学会等名 海外学術調査フォーラム2019 (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 近藤康久, 大西秀之, 池内有為, 中島健一郎
2. 発表標題 パレオアジア研究観調査の結果と学際性に関する考察
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第8回研究大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 近藤康久
2. 発表標題 オープンサイエンス時代のTD研究
3. 学会等名 課題解決型研究を推進するための超学際のあるり方に関する研究会(招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Itinerant knappers at Neolithic villages in northern Mesopotamia?
3. 学会等名 the 18th UISPP (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kato, S., K. Tamura, T. Yamaoka, M. Suzuki, Y. Nishiaki and H. Magara
2. 発表標題 Chrono-Spatial Patterning of the Late Pleistocene Lithic Assemblages from East and Southeast Asia.
3. 学会等名 The 9th Meeting of the Asian Paleolithic Association. (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 KATO S., K. TAMURA, T. YAMAOKA, M. SUZUKI, Y. NISHIAKI and H. MAGARA
2. 発表標題 Chrono-spatial patterning of the Late Pleistocene lithic assemblages from East and Southeast Asia
3. 学会等名 The 9th Meeting of the Asian Paleolithic Association (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 New data on the Neolithisation of Central Asia
3. 学会等名 International Seminar on Archaeology of Central Asia (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西秋良宏・O. アリプジャノフ・R. スレイマノフ・O. エンゲシェッド・B. セイフライエフ・仲田大人・新井オニ・野口 淳
2. 発表標題 北ユーラシアの旧人・新人交替劇 第6次ウズベキスタン旧石器遺跡調査 (2018年)
3. 学会等名 第26回西アジア発掘調査報告会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 西秋良宏・A. ザイナロフ・M. マンスロフ・U. ヘイダロヴァ・下釜和也・赤司千恵・新井オニ・桐原弘宣
2. 発表標題 南コーカサス地方の新石器時代 日本・アゼルバイジャン調査団第11次発掘調査 (2019年)
3. 学会等名 第26回西アジア発掘調査報告会
4. 発表年 2019年

1 . 発表者名 Nishiaki, Y. and E. Baudouin
2 . 発表標題 In pursuit of the origins of farming societies in the Fertile Crescent and beyond
3 . 学会等名 The French Research Day in Japan 2018/ the 15th Anniversary of the French-Japanese SAKURA Program ( 国際学会 )
4 . 発表年 2019年

1 . 発表者名 Nishiaki, Y.
2 . 発表標題 Emergence and development of pressure debitage in Central and Western Asia
3 . 学会等名 the 9th Conference of the Asian Paleolithic Association ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Nishiaki, Y. and F. Guliyev
2 . 発表標題 Mobility and sedentism in the Mesolithic-Neolithic contact period of the Southern Caucasus
3 . 学会等名 The Twelfth International Congress on Hunting and Gathering Societies ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Nishiaki, Y. and F. Guliyev
2 . 発表標題 Gender perspectives on Neolithization in the Southern Caucasus
3 . 学会等名 The Eleventh International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Arai, S., A. Zeynalov, F. Guliyev, O. Aripdjanov, and Y. Nishiaki
2 . 発表標題 To the East: Recent zooarchaeological studies concerning the spread of domesticated animals into Southern Caucasus and Central Asia
3 . 学会等名 13th ICAZ International Conference ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Joeris, O., J. Banea and Y. Nishiaki
2 . 発表標題 Becoming Specialists, From Imitation to Professionalism: A Palaeolithic to Neolithic Perspective
3 . 学会等名 the XVIII UISPP World Congress ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Nakazawa, T., M. Karino, S. Arai, K. Ohnishi, K. Kawahara, Y. Taniguchi, A. Tsuneki, S. Kadowaki and Y. Nishiaki
2 . 発表標題 Mass Spectrometry of collagen preserved in Neolithic animal bones for the identification of species
3 . 学会等名 The 66th ASMS Conference on Mass Spectrometry and Allied Topics ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1 . 発表者名 Shikaku, R., H. Nojima, M. Hoshino, K. Uesugi, N. Yagi, H. Okamura, and Y. Nishiaki
2 . 発表標題 Image and metalworking technology: Bimetallic sword from northern Iran
3 . 学会等名 The Eleventh International Congress on the Archaeology of the Ancient Near East ( 国際学会 )
4 . 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 ザグロス地方中期旧石器時代石器群の変異
3. 学会等名 日本オリエント学会第59回大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 先史時代のユーラシア
3. 学会等名 シルクロード新世紀 公開講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 中期旧石器時代前半における新人の北ユーラシア拡散可能性について
3. 学会等名 日本旧石器学会2018年度総会・研究発表
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 アゼルバイジャンにおける考古遺跡の保護・活用の課題について
3. 学会等名 文化遺産国際協力コンソーシアム第31回西アジア分科会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏・ソニア シドラング・小高敬寛・仲田大人・新井才二
2. 発表標題 イラン南西部マルヴダシュト平原の旧石器・先土器新石器時代遺跡群
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第22回総会・大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 西アジアにおける押圧剥離技術の出現と展開について
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第22回総会・大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 考古学からみる狩猟採集・農耕社会の接触と交替 西アジアと周辺の場合
3. 学会等名 日本考古学協会第84回総会セッション：新人の拡散と先住集団との文化的交替 完新世考古学・民族学からみた展望
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 赤司千恵・門脇誠二・F. キリエフ・西秋良宏
2. 発表標題 南コーカサスにおけるヨモギ属 ( <i>Artemisia</i> sp.) 利用史
3. 学会等名 第33回日本植生史学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤康久・西秋良宏
2. 発表標題 人文学の可視化による学融合領域の創出ー人文学と情報学のチームサイエンス
3. 学会等名 第32回人間文化研究機構シンポジウム『人文知による情報と知の体系化-異分野融合で何をつくるか』
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 宮田佳樹・下釜和也・堀内晶子・宮内信雄・新井才二・赤司千恵・吉田邦夫・松崎浩之・西秋良宏
2. 発表標題 土器残存脂質分析からみた南コーカサス初期農耕民の土器利用
3. 学会等名 第33回日本植生史学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田村光平・加藤真二・鈴木美保・高倉 純・中川和哉・野口 淳・山岡拓也・西秋良宏
2. 発表標題 パレオアジアDB石器データ時空間動態の可視化
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村光宏・加藤真二・鈴木美保・中川和哉・野口 淳・山岡拓也・西秋良宏
2. 発表標題 石器データの統計的性質から推測される文化の拡散メカニズム
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏・北川浩之・田村 亨
2. 発表標題 中央アジア中期旧石器時代編年の諸問題
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田村光平・加藤真二・鈴木美保・高倉 純・中川和哉・野口 淳・山岡拓也・西秋良宏
2. 発表標題 パレオアジアDB石器データ時空間動態の可視化
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中村光宏・加藤真二・鈴木美保・中川和哉・野口 淳・山岡拓也・西秋良宏
2. 発表標題 石器データの統計的性質から推測される文化の拡散メカニズム
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田村 亨・西秋良宏・門脇誠二・国武貞克
2. 発表標題 中央・西アジア旧石器時代遺跡のOSL特性の多様性
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中沢 隆・門脇誠二・西秋良宏
2. 発表標題 アゼルバイジャンから出土した新石器時代のヤギおよびヒツジの骨に含まれるコラーゲンの 質量分析
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 パレオアジア・プロジェクトとは
3. 学会等名 PaleoAsia 2018 公開講演会「アフリカからアジアへ」 現生人類の起源と拡散- (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kobayashi, Y., M. Nakamura, K. Tamura, K. Aoki, S. Kurokawa, J. Y. Wakano, S. Kato , M. Suzuki, J. Takakura, K. Nakagawa, A. Noguchi, T. Yamaoka, and Y. Nishiaki
2. 発表標題 Analysis of archaeological data based on 0,1-vector models
3. 学会等名 PaleoAsia2018 International Workshop (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Patterns in the formative processes of modern human cultures in Asia
3. 学会等名 PaleoAsia2018 International Workshop (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Akashi, C., F. Guliyev, A. Zeynalov, M. Mansurov, and Y. Nishiaki
2. 発表標題 Replacement or assimilation?: Plant exploitation in the Mesolithic-Neolithic contact period of the South Caucasus
3. 学会等名 PaleoAsia2018 International Workshop (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nakazawa, T., M. Osawa, K. Matsuo, M. Inuzuka, Y. Ito, S. Kadowaki, and Y. Nishiaki
2. 発表標題 Identification of animal species by mass spectrometry of collagen preserved in Neolithic and Paleolithic bone specimens
3. 学会等名 PaleoAsia2018 International Workshop (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nakamura, M., K. Tamura, K. Aoki, Y. Kobayashi, S. Kurokawa, J. Y. Wakano, S. Kato, M. Suzuki, J. Takakura, K. Nakagawa, A. Noguchi, T. Yamaoka, and Y. Nishiaki
2. 発表標題 Statistical analyses of archaeological cultures based on 0,1-vector models
3. 学会等名 PaleoAsia2018 International Workshop (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田村光平・加藤真二・山岡拓也・西秋良宏
2. 発表標題 東アジア中・後期旧石器石器群類型化の試み(第2報)
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第5回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 レヴァント地方前期ムステリアンの諸問題
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第5回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 中沢 隆・門脇誠二・西秋良宏
2. 発表標題 アゼルバイジャンから出土した新石器時代のヤギおよびヒツジの骨に含まれるコラーゲンの質量分析
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nakazawa, T., M. Karino, S. Arai, K. Ohnishi, K. Kawahara, Y. Taniguchi, A. Tsuneki, S. Kadowaki, and Y. Nishiaki
2. 発表標題 Mass spectrometry of collagen preserved in Neolithic animal bones for the identification of species
3. 学会等名 66th ASMS Conference on Mass Spectrometry and Allied Topics (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nakazawa, T., M. Osawa, K. Matsuo, M. Inuzuka, Y. Ito, S. Kadowaki, and Y. Nishiaki
2. 発表標題 Identification of animal species by mass spectrometry of collagen preserved in Neolithic and Paleolithic bone specimens
3. 学会等名 The International Workshop, Cultural History of PaleoAsia (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 田村 亨・西秋良宏・門脇誠二・国武貞克
2. 発表標題 中央・西アジア旧石器時代遺跡のOSL特性の多様性
3. 学会等名 「パレオアジア文化史学」第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Wakano, J.Y., W. Gilpin, S. Kadowaki, M.W. Feldman, and K. Aoki
2. 発表標題 Ecocultural rangeexpansion models of modern humans with ecological competition with Neanderthals
3. 学会等名 The International Workshop, Cultural History of PaleoAsia (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Kobayashi Y., Nakamura M., Tamura K., Aoki K., Kurokawa S., Wakano J. Y., Kato S., Suzuki M., Takakura J., Nakagawa K., Noguchi A., Yamaoka T., Nishiaki Y.
2. 発表標題 Analysis of archaeological data based on 0,1-vector models
3. 学会等名 PaleoAsia2018 The International Workshop (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nakamura M., Tamura K., Aoki K., Kobayashi Y., Kurokawa S., Wakano J.Y., Kato S., Suzuki M., Takakura J., Nakagawa K., Noguchi A., Yamaoka T., Nishiaki Y.
2. 発表標題 Statistical Analyses of archaeological cultures based on 0,1-vector models
3. 学会等名 PaleoAsia2018 The International Workshop (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤康久, 野口 淳, 三木健裕, 黒沼太一, 北川浩之
2. 発表標題 オマーンにおける先史遺跡調査：ワディ・タヌーフ1号洞穴の発見
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第5回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 大西秀之, 近藤康久, 岩本葉子
2. 発表標題 文化としての人間行動という視座：パレオアジア文化史学の語彙分析を事例として
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第5回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yasuhisa Kondo, Ge Wang, Ui Ikeuchi, Kei Kano, Terukazu Kumazawa, Ken'ichiro Nakashima, Hideyuki Onishi, Takeshi Osawa, Tatsuki Sekino
2. 発表標題 Information asymmetry reduction in open team science: call for international collaborators
3. 学会等名 SESYNC 2018 Boundary Spanning Symposium (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yasuhisa Kondo
2. 発表標題 Data-driven approach to identify early modern humans' ecological niche and optimal dispersal routes in Eurasia
3. 学会等名 Landscape Archaeology Conference 2018 (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤康久
2. 発表標題 チームサイエンスにおける知識融合ツールとしてのGISの役割
3. 学会等名 地理情報システム学会2018年大会企画セッション「オープン×シチズンサイエンスによる市民協働と次のステップに向けて」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤康久, 野口 淳, 田村光平, 中村光宏, 北川浩之
2. 発表標題 PaleoAsia DB ハッカソン
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤康久, 岩本葉子
2. 発表標題 パレオアジア文化史学プロジェクトにおける分野関連携の進展：ネットワークグラフによる可視化
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第6回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤康久
2. 発表標題 研究データ活用における科学と社会の将来像-マルチステークホルダー・ワークショップから見えてきたこと-
3. 学会等名 日本学術会議公開シンポジウム「科学データの保存・利用態勢の強化と国際展開」
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yasuhisa Kondo, Hideyuki Onishi, Yoko Iwamoto
2. 発表標題 Lexical analysis of the concept of culture in the PaleoAsia project
3. 学会等名 PaleoAsia2018 The International Workshop (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Yasuhisa Kondo, Yoko Iwamoto
2. 発表標題 Network analysis of the interdisciplinary co-authorship of the PaleoAsia project
3. 学会等名 PaleoAsia2018 The International Workshop (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 高倉 純、近藤康久、北川浩之
2. 発表標題 古環境から見たシベリア北極圏への人類の拡散
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第5回研究大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 野口淳、三木健裕、北川浩之、M. マデラ、C. ランセロッティ、G.M. ヴィーサル、T. アプロ
2. 発表標題 インダス河谷の人類 環境史：後期更新世～完新世の地形発達史・環境変遷史とセトルメントパターンの長期的動態
3. 学会等名 日本西アジア考古学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Nishiaki, Y., Y. Kanjou and T. Akazawa
2. 発表標題 The Yabrudian industry of Dederiyeh Cave, Northwest Syria.
3. 学会等名 Vocation Prehistoire - Hommages Jean-Marie Le Tensorer. (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Arai, S., A. Zeynalov, M. Mansurov, F. Guliyev and Y. Nishiaki
2. 発表標題 Faunal assemblages in the Mesolithic-Neolithic Transition of the Southern Caucasus: a view from Damjili Cave, West Azerbaijan.
3. 学会等名 The 13th International Symposium on the Archaeozoology of Southwest Asia (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kadowaki, S. and Y. Nishiaki
2. 発表標題 Dating cultural dynamics during the dispersals of anatomically modern humans and agriculture in western Eurasia.
3. 学会等名 The Fourteenth International AMS Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 西アジアとその周辺の考古学
3. 学会等名 公開講演会 (招待講演)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 パレオアジアDBの定量的分析に向けて
3. 学会等名 『パレオアジアDB研究会』科学研究費補助金「新学術領域研究」A01研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 レバノン、ケウエ洞窟出土石器群の再検討 いわゆるIUP関連石器を中心に
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第21回総会・大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 西アジアの前・中期旧石器時代移行期の人類的意義について
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第21回総会・大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏・野林厚志・門脇誠二・北川浩之・若野友一郎・赤司千恵
2. 発表標題 パレオアジア文化史学 新人文化形成プロセス総合的研究にむけた海外学術調査の統合の試み
3. 学会等名 平成29年度『海外学術調査フォーラム（海外学術調査フェスタ）』
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 北メソポタミア青銅器時代の石器製作技術
3. 学会等名 公開シンポジウム『石器技術研究会 日本列島と西アジア』
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 旧世界中後期旧石器時代の装身具とヒト
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第3回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 The PaleoAsia project overview
3. 学会等名 International Workshop Cultural Evolution during the Modern Human Dispersals (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 General discussion
3. 学会等名 JSPS seminar: Dispersals of Farming across Eurasia (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Opening remarks
3. 学会等名 International Workshop Across the Movius Line: Cultural Geography of South and Southeast Asia in the Late Pleistocene (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 General discussion
3. 学会等名 JSPS seminar: The Effect of Geographical Margins to Food Globalization in Prehistory (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nishiaki, Y., Y. Kanjou and T. Akazawa
2. 発表標題 The Yabrudian industry of Dederiyeh Cave, Northwest Syria
3. 学会等名 International Conference: Vocation Prehistoire - Hommages Jean-Marie Le Tensorer (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 はじめに・総合討論
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研2016-2020：パレオアジア文化史学第3回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏・A. ゼイナロフ・M. マンスーロフ
2. 発表標題 南コーカサス地方のムステリアン石器群の変異
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研2016-2020：パレオアジア文化史学第3回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 中央アジア山麓部への食料生産経済の拡散と展開：ウズベキスタン旧石器遺跡調査2017
3. 学会等名 第1回シルクロード学研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 考古学にみる音とその周辺
3. 学会等名 平成29年度学芸員専修コース
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏・O. アリプジャノフ
2. 発表標題 ウズベキスタン、テシク・タシュ洞窟出土の中期旧石器時代石器群
3. 学会等名 日本オリエント学会第59回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 泥壁のアーキテクチャ
3. 学会等名 建築博物学教室
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 西アジアとその周辺の考古学
3. 学会等名 公開講演会、アンデス文明研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 パレオアジアDBの定量的分析に向けて
3. 学会等名 パレオアジアDB研究会、科学研究費補助金「新学術領域研究」A01研究会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 赤司千恵・F. キリエフ・丹野研一・西秋良宏
2. 発表標題 南コーカサスにおける初期農耕-出土植物データからみた研究の現状
3. 学会等名 日本オリエント学会第59回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 高倉 純・北川浩之・西秋良宏
2. 発表標題 北ユーラシア交替劇にかかわる年代データの定量的解析
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研2016-2020：パレオアジア文化史学第3回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 野口 淳・鈴木美保・中村光宏・近藤康久・西秋良宏
2. 発表標題 南アジア後期旧石器時代幾何学細石器群の起源
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第3回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 近藤康久・門脇誠二・北川浩之・鈴木美保・仲田大人・野口 淳・野林厚志・西秋良宏
2. 発表標題 パレオアジア遺跡データベースのプロジェクト内共有について
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第3回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 近藤康久
2. 発表標題 知の橋かけ研究モデル：橋渡し人材の支援による知識情報ギャップの可視化と克服
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2017年大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kondo, Yasuhisa; Kazuhiro Hayashi; Ui Ikeuchi; Miki Kuribayashi; Sachiko Yano; Asanobu Kitamoto
2. 発表標題 Future of open science with society: Report on a multi-stakeholder workshop in Japan
3. 学会等名 日本地球惑星科学連合2017年大会（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 近藤康久・日本旧石器学会データベース委員会
2. 発表標題 日本旧石器学会データベース委員会の取り組み（2）ハテナソンによる論点整理とハンズオンによる共同編集講習
3. 学会等名 日本旧石器学会第15回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 近藤康久
2. 発表標題 オープンデータとは
3. 学会等名 第20回月惑星探査研究会：太陽系データワークショップ
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yasuhisa Kondo
2. 発表標題 Exploring further than open science: participatory and transdisciplinary aspects of open science.
3. 学会等名 ICSU-WDS Asia-Pacific Conference 2017（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 近藤康久
2. 発表標題 文化遺産のオープンデータ化をめぐるアクションリサーチ
3. 学会等名 アーカイブサミット 2017 in 京都
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 近藤康久
2. 発表標題 現地課題に応えるアクションリサーチ：オマーンのデジタル文化遺産目録づくりの現場から
3. 学会等名 公開シンポジウム 最新科学による西アジア文化遺産の調査と保護
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 近藤康久・大西秀之・岩本葉子
2. 発表標題 パスワードとしての『文化』
3. 学会等名 第4回研究大会 パレオアジア文化史学：アジア新人文化形成プロセスの総合的研究
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Tara Beuzen-Waller, Jessica Giraud, Guillaume Gernez, Romain Courault, Yasuhisa Kondo, Charlotte Cable, Christopher Thornton, Eric Fouache
2. 発表標題 Reconstructing the emergence of oasis territories in the piedmont of the Hajar Mountains
3. 学会等名 XXVIIIe Rencontres internationales d'archéologie et d'histoire d'Antibes (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yasuhisa Kondo, Hideyuki Onishi, Yoko Iwamoto
2. 発表標題 Is 'culture' a buzzword? Ontological challenge of an interdisciplinary project on the cultural history of early modern humans in Asia
3. 学会等名 Computer Applications and Quantitative Methods in Archaeology (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤康久・北本朝展・林 和弘
2. 発表標題 人文知の可視化による学融合領域の創出：人文学と情報学のチームサイエンス（1）オープンサイエンスの未来を考えるアンカンファレンス
3. 学会等名 第32回人間文化研究機構シンポジウム 人文知による情報と知の体系化 異分野融合で何をつくるか？
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤康久・西秋良宏
2. 発表標題 人文知の可視化による学融合領域の創出：人文学と情報学のチームサイエンス（2）データと概念の共有に基づくパレオアジア文化史学の形成
3. 学会等名 第32回人間文化研究機構シンポジウム 人文知による情報と知の体系化 異分野融合で何をつくるか？
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 近藤康久
2. 発表標題 オープンチームサイエンス：オープンサイエンスパラダイムに基づく超学際研究の方法論構築に向けて
3. 学会等名 2017年度名古屋大学宇宙地球環境研究所研究集会・科学データ研究会・第7回WDS国内シンポジウム
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 門脇誠二
2. 発表標題 射的具か石材節約か? : レヴァント上部旧石器時代における小石刃の発生と行動的説明
3. 学会等名 日本西アジア考古学会第22回大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kadowaki, S.
2. 発表標題 Emergence of bladelets in the Levant and its behavioral meanings
3. 学会等名 International Workshop on Cultural History of PaleoAsia, "Across the Movius Line: Cultural Geography of South and Southeast Asia in the Late Pleistocene" (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Kadowaki, S.
2. 発表標題 Space-time distributions and behavioral changes of Neanderthals and modern humans in west Asia: archaeological records on the Middle-to-Upper Paleolithic transition
3. 学会等名 "Cultural History of PaleoAsia" International workshop (Organized by B02), "Theoretical Models of Cultural Evolution during Modern Human Dispersals"
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Karino, M., K. Kawahara, S. Kadowaki, Y. Taniguchi, A. Tsuneki, M. Moini, and T. Nakazawa
2. 発表標題 Characterization of degradation profile of collagen in archaeological specimens by mass spectrometry
3. 学会等名 The 64th ASMS Conference on Mass Spectrometry and Allied Topics
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Karino, M., Y. Ito, M. Inuduka, S. Kadowaki, Y. Nishiaki, and T. Nakazawa
2. 発表標題 Mass spectrometry of collagen in 8,000-year-old animal bones to characterize deterioration
3. 学会等名 ConBio2017 (Consortium of Biological Sciences 2017) 90th Annual Meeting of the Japanese Biochemical Society
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 藤木利之・北川浩之・西秋良宏
2. 発表標題 ウズベ キスタン・アンギラク洞窟の中期旧石器時代層の花粉分析
3. 学会等名 日本第四紀学会2017年大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 北川浩之・奈良郁子・藤木利之・長谷川精・田村亮・近藤康久
2. 発表標題 パレオアジア気候データベース
3. 学会等名 パレオアジア文化史学 第4 回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Romagnoli, F., Y. Nishiaki, F. Rivals, and M. Vaquero
2. 発表標題 Session: Multidisciplinary approach in the definition of high-resolution events to interpret past human behaviour.
3. 学会等名 The 8th World Archaeological Congress (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Archaeological issues on the emergence of modern humans in the Zagros and beyond.
3. 学会等名 The 2nd Conference on the Cultural History of PaleoAsia (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Development of the lithic industries of the earliest farming communities in the Middle Kura Valley, Azerbaijan.
3. 学会等名 The 8th International Conference on the PPN Chipped Lithic Industries of the Near East ( (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 Towards a high-resolution chronology of the Neolithisation processes of the Southern Caucasus.
3. 学会等名 The 8th World Archaeological Congress (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Nishiaki, Y.
2. 発表標題 PPN-PN The emergence and development of the Mlefaatian lithic industry in the Iranian Zagros.
3. 学会等名 The 8th International Conference on the PPN Chipped Lithic Industries of the Near East (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 南コーカサス地方新石器時代の社会発展と建築伝統
3. 学会等名 日本オリエント学会第58回大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 中央アジアにおける現生人類出現プロセスを探るーウズベキスタン旧石器遺跡調査2012- 2016
3. 学会等名 中央アジア遺跡調査報告会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 西アジア発、"新石器革命"とその拡散
3. 学会等名 2016年度西洋史研究会大会共通論題：ゲノム研究は歴史を変える-西ユーラシアの農耕-牧畜・移動-定住研究の現在（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 西秋良宏
2. 発表標題 アジアにおけるホモ・サピエンス定着プロセスの地理的編年的枠組み構築に向けて
3. 学会等名 文部科学省科学研究費補助金・新学術領域研究2016-2020：パレオアジア文化史学第1回研究大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 藤木利之・北川浩之・西秋良宏
2. 発表標題 ウズベキスタン・アンギラク洞窟の中期旧石器時代層の花粉分析
3. 学会等名 パレオアジア文化史学 第2 回研究大会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Wakano, J.Y.
2. 発表標題 Traveling waves of cultural invasion
3. 学会等名 Japanese Society for Mathematical Biology
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 近藤康久
2. 発表標題 アラビア半島乾燥地オアシスの水環境に関する環境考古学的研究、その後
3. 学会等名 平成28年度クリタ水・環境科学振興財団研究成果報告会（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 近藤康久
2. 発表標題 地球環境学の離散的なデータの活用に向けた諸問題～何が障壁で、どう乗り越えるか～
3. 学会等名 第1回NII-地球研合同セミナー「オープンサイエンスでフィールドサイエンスの新時代を拓く」（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 近藤康久
2. 発表標題 オープンサイエンスが切り拓く社会課題解決型研究の未来
3. 学会等名 文部科学省科学技術・学術政策研究所講演会（ホライズン・セミナー）（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 近藤康久
2. 発表標題 パレオアジア文化史学総合遺跡データベースPaleoAsia DBのグランドデザイン
3. 学会等名 パレオアジア文化史学第1回研究大会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 近藤康久
2. 発表標題 Open-TD: オープンサイエンス時代の社会協働研究
3. 学会等名 FOSS4G 2016 NARA.KANSAI（招待講演）
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Yasuhisa Kondo, Atsushi Noguchi
2. 発表標題 Best practices and challenges in promoting open science in archaeology: two narratives from Japan
3. 学会等名 45th annual conference of Computer Applications and Quantitative Methods in Archaeology (CAA)（国際学会）
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Yasuhisa Kondo
2. 発表標題 Joint ecological niche- & cost surface model to backcast the adaptation of early modern humans to the palaeoenvironment
3. 学会等名 Future Earth Cluster Workshop “Modeling Challenges for Sustainability” (国際学会)
4. 発表年 2016年

〔図書〕 計116件

1. 著者名 Kadowaki, S., Y. Arimatsu and Y. Nishiaki	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Archaeopress (Oxford)	5. 総ページ数 366(43-78)
3. 書名 Goytepe - The Neolithic Excavations in the Middle Kura Valley, Azerbaijan	

1. 著者名 Kadowaki, S.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Archaeopress (Oxford)	5. 総ページ数 366(223-259)
3. 書名 Goytepe - The Neolithic Excavations in the Middle Kura Valley, Azerbaijan	

1. 著者名 Kadowaki, S., L. Maher, M. Portillo, and R. M. Albert	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Archaeopress (Oxford)	5. 総ページ数 366(109-136)
3. 書名 Goytepe - The Neolithic Excavations in the Middle Kura Valley, Azerbaijan	

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Research Institute for Cultural Properties, Teikyo University	5. 総ページ数 111(1-22)
3. 書名 Archaeological Research and Preservation of Cultural Heritage in Iran	

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Research Institute for Cultural Properties, Teikyo University	5. 総ページ数 111(23-27)
3. 書名 Archaeological Research and Preservation of Cultural Heritage in Iran	

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Research Institute for Cultural Properties, Teikyo University	5. 総ページ数 111(28-29)
3. 書名 Archaeological Research and Preservation of Cultural Heritage in Iran	

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Archaeopress (Oxford)	5. 総ページ数 366(169-190)
3. 書名 Goytepe - The Neolithic Excavations in the Middle Kura Valley, Azerbaijan	

1. 著者名 Nishiaki, Y. and F. Guliyev	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Archaeopress (Oxford)	5. 総ページ数 366(1-8)
3. 書名 Goytepe - The Neolithic Excavations in the Middle Kura Valley, Azerbaijan	

1. 著者名 Nishiaki, Y., F. Guliyev, F. Huseynov and K. Shimogama	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Archaeopress (Oxford)	5. 総ページ数 366(15-42)
3. 書名 Goytepe - The Neolithic Excavations in the Middle Kura Valley, Azerbaijan	

1. 著者名 Nishiaki, Y., Y. Arimatsu and S. Arai	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Archaeopress (Oxford)	5. 総ページ数 366(79-85)
3. 書名 Goytepe - The Neolithic Excavations in the Middle Kura Valley, Azerbaijan	

1. 著者名 Nishiaki, Y., E. Baudouin and F. Guliyev	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Archaeopress (Oxford)	5. 総ページ数 366(97-108)
3. 書名 Goytepe - The Neolithic Excavations in the Middle Kura Valley, Azerbaijan	

1. 著者名 Takakura, J. and Y. Nishiaki	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Archaeopress (Oxford)	5. 総ページ数 366(209-221)
3. 書名 Goytepe - The Neolithic Excavations in the Middle Kura Valley, Azerbaijan	

1. 著者名 Nishiaki, Y., Guliyev, F.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Archaeopress (Oxford)	5. 総ページ数 366
3. 書名 Goytepe - The Neolithic Excavations in the Middle Kura Valley, Azerbaijan	

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Brepols(Turnhout)	5. 総ページ数 310(9-17)
3. 書名 Identity, Diversity, & Contact: From the Southern Balkans to Xinjiang, from the Upper Palaeolithic to Alexander.	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 168(132-135)
3. 書名 猫と東大。	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2020年
2. 出版社 帝京大学文化財研究所	5. 総ページ数 83(3-8)
3. 書名 『イラン文明を守る：日本とイランの協力の足跡』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2021年
2. 出版社 雄山閣	5. 総ページ数 350
3. 書名 旧石器考古学辞典 四訂版	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2020年
2. 出版社 丸善出版	5. 総ページ数 826(44-45)
3. 書名 中東・オリエント文化事典	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2020年
2. 出版社 鹿島学術振興財団	5. 総ページ数 382(268-270)
3. 書名 『第44回2019年度年報（公益財団法人鹿島学術振興財団）』	

1. 著者名 西秋 良宏	4. 発行年 2021年
2. 出版社 同成社	5. 総ページ数 240
3. 書名 中央アジアのネアンデルタール人	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 296(77)
3. 書名 人間の本质にせまる科学	

1. 著者名 近藤 康久、大西 秀之	4. 発行年 2021年
2. 出版社 かもがわ出版	5. 総ページ数 230
3. 書名 環境問題を解く	

1. 著者名 Nishiaki, Y. and F. Guliyev	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ex oriente	5. 総ページ数 236(225-233)
3. 書名 Hacı Elamxanlı Tepe - The Archaeological Investigations of an Early Neolithic Settlement in West Azerbaijan	

1. 著者名 Nishiaki, Y	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ex oriente	5. 総ページ数 236(97-106)
3. 書名 Haci Elamxanlı Tepe - The Archaeological Investigations of an Early Neolithic Settlement in West Azerbaijan	

1. 著者名 Nishiaki, Y. and F. Guliyev	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ex oriente	5. 総ページ数 236(1-5)
3. 書名 Haci Elamxanlı Tepe - The Archaeological Investigations of an Early Neolithic Settlement in West Azerbaijan	

1. 著者名 Nishiaki, Y., F. Guliyev, and Kadowaki S.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ex oriente	5. 総ページ数 236
3. 書名 Haci Elamxanlı Tepe - The Archaeological Investigations of an Early Neolithic Settlement in West Azerbaijan	

1. 著者名 Seiji Kadowaki	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ex oriente	5. 総ページ数 236(59-96)
3. 書名 Haci Elamxanlı Tepe - The Archaeological Investigations of an Early Neolithic Settlement in West Azerbaijan	

1. 著者名 Kadowaki, S., F. Guliyev, V. Alakbarov, T. Miki, K. Shimogama, and Y. Nishiaki	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ex oriente	5. 総ページ数 236(7-58)
3. 書名 Haci Elamxanlı Tepe - The Archaeological Investigations of an Early Neolithic Settlement in West Azerbaijan	

1. 著者名 Seiji Kadowaki	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ex oriente	5. 総ページ数 236(107-132)
3. 書名 Haci Elamxanlı Tepe - The Archaeological Investigations of an Early Neolithic Settlement in West Azerbaijan	

1. 著者名 彭宇潔, 野林厚志, 高木仁	4. 発行年 2022年
2. 出版社 知識産権出版社	5. 総ページ数 277(246-264)
3. 書名 賽博格人類学：跨学科理論と応用人類学探索	

1. 著者名 Ikeya, K. and Y. Nishiaki eds.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 National Museum of Ethnology	5. 総ページ数 282
3. 書名 Hunter-Gatherers in Asia: from Prehistory to Present.	

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 発行年 2021年
2. 出版社 National Museum of Ethnology	5. 総ページ数 282(109-123)
3. 書名 Hunter-Gatherers in Asia: from Prehistory to Present.	

1. 著者名 Ikeya, K. and Y. Nishiaki	4. 発行年 2021年
2. 出版社 National Museum of Ethnology	5. 総ページ数 282(1-24)
3. 書名 Hunter-Gatherers in Asia: from Prehistory to Present.	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学総合研究博物館	5. 総ページ数 151(1-10)
3. 書名 アジアにおけるホモ・サピエンス定着プロセスの地理的編年的枠組み構築5 (パレオアジアA01班2020年度研究報告)	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学総合研究博物館	5. 総ページ数 151(i)
3. 書名 『アジアにおけるホモ・サピエンス定着プロセスの地理的編年的枠組み構築5 パレオアジアA01班2020年度研究報告』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2021年
2. 出版社 東京大学総合研究博物館	5. 総ページ数 151
3. 書名 アジアにおけるホモ・サピエンス定着プロセスの地理的編年的枠組み構築5 (パレオアジアA01班2020年度研究報告)	

1. 著者名 Nishiaki, Y. and O. Joris (eds.)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer Nature	5. 総ページ数 218
3. 書名 Learning among Neanderthals and Palaeolithic Modern Humans: Archaeological Evidence	

1. 著者名 西秋良宏 (編)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 朝日新聞出版	5. 総ページ数 268
3. 書名 アフリカからアジアへ 現生人類はどう拡散したか	

1. 著者名 西秋良宏 (編)	4. 発行年 2020年
2. 出版社 パレオアジア文化史学	5. 総ページ数 129
3. 書名 『アジアにおけるホモ・サピエンス定着プロセスの地理的編年的枠組み構築4』 「パレオアジア」A01班2019年度研究報告	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2020年
2. 出版社 パレオアジア文化史学	5. 総ページ数 129
3. 書名 「はじめに」『アジアにおけるホモ・サピエンス定着プロセスの地理的編年的枠組み構築4（「パレオアジア」A01班2019年度研究報告）』西秋良宏編	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2020年
2. 出版社 パレオアジア文化史学	5. 総ページ数 129
3. 書名 「アジアにおけるホモ・サピエンス定着プロセスの地理的編年的枠組み構築-2019年度の取り組み」『アジアにおけるホモ・サピエンス定着プロセスの地理的編年的枠組み構築4（「パレオアジア」A01班2019年度研究報告）』西秋良宏編	

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer Nature	5. 総ページ数 59-76 (218)
3. 書名 Mastering hammer use in stone knapping: An experiment. In: Learning among Neanderthals and Palaeolithic Modern Humans: Archaeological Evidence	

1. 著者名 Nishiaki, Y. and F. Guliyev	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Astrom Editions	5. 総ページ数 471-483 (530)
3. 書名 "Neolithic lithic industries of the Southern Caucasus: Goytepe and Haci Elamxanlı Tepe, West Azerbaijan (Early 6th Millennium BC). In: Near Eastern Lithics on the Move: Interaction and Contexts in Neolithic Traditions"	

1. 著者名 Nishiaki, Y. and O. Joris	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer Nature	5. 総ページ数 1-6(218)
3. 書名 Learning behaviors among Neanderthals and Palaeolithic modern humans: An introduction. In: Learning among Neanderthals and Palaeolithic Modern Humans: Archaeological Evidence	

1. 著者名 Takahashi, S. and Y. Nishiaki	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer Nature	5. 総ページ数 129-147(218)
3. 書名 Learning of sanukite knapping at Suichoen (Japan) in the Upper Paleolithic. In: Learning among Neanderthals and Palaeolithic Modern Humans: Archaeological Evidence	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2020年
2. 出版社 朝日新聞出版	5. 総ページ数 3-6(268)
3. 書名 「はじめに」 『アフリカからアジアへ 現生人類はどう拡散したか』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2020年
2. 出版社 朝日新聞出版	5. 総ページ数 53-94(268)
3. 書名 「東アジアへ向かった現生人類、二つの適応」 『アフリカからアジアへ 現生人類はどう拡散したか』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2020年
2. 出版社 朝日新聞出版	5. 総ページ数 223-254(268)
3. 書名 「アフリカからアジアへ 文化の視点」 『アフリカからアジアへ 現生人類はどう拡散したか』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2020年
2. 出版社 朝日新聞出版	5. 総ページ数 245-247(268)
3. 書名 「おわりに」 『アフリカからアジアへ 現生人類はどう拡散したか』	

1. 著者名 西秋良宏・O. アリブジャノフ・O. エンゲシェッド・B. セイフライエフ・仲田大人・新井オニ	4. 発行年 2020年
2. 出版社 日本西アジア考古学会	5. 総ページ数 140(40-43)
3. 書名 「北ユーラシアの旧人・新人交替劇 第7次ウズベキスタン旧石器遺跡調査（2019年）」 『第27回西アジア発掘調査報告会』	

1. 著者名 西秋良宏・A. ザイナロフ・M. マンスロフ・下釜和也・赤司千恵・廣瀬允人・池山史華	4. 発行年 2020年
2. 出版社 日本西アジア考古学会	5. 総ページ数 140(52-55)
3. 書名 「南コーカサス地方の新石器時代 日本・アゼルバイジャン調査団第12次発掘調査（2019年）」 『第27回西アジア発掘調査報告会』	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2019年
2. 出版社 奈良文化財研究所	5. 総ページ数 50 (31-40)
3. 書名 『カシュカダリヤ溪谷、アングラク洞窟の発掘調査』 『天山山脈から古日本列島へ：ユーラシア広域編年の可能性』	

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Tokyo: Society for Near Eastern Studies in Japan.	5. 総ページ数 272
3. 書名 Jezla: An Early-Middle Bronze Age site complex in the Middle Euphrates steppe, North Syria. In: Prince of the Orient: Ancient Near Eastern Studies in Memory of H. I. H. Prince Takahito Mikasa	

1. 著者名 Nakata, I., Y. Nishiaki, T. Odaka, M. Yamada, and S. Yamada (eds.)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Tokyo: Society for Near Eastern Studies in Japan.	5. 総ページ数 272
3. 書名 Prince of the Orient: Ancient Near Eastern Studies in Memory of H. I. H. Prince Takahito Mikasa. Orient, Supplement I.	

1. 著者名 Kadowaki, S., T. Kurozumi, and D. O. Henry	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Springer Nature	5. 総ページ数 161-178(218)
3. 書名 Marine shells from Tor Fawaz, southern Jordan, and their implications for behavioral changes from the Middle to Upper Paleolithic in the Levant. In: Learning Among Neanderthals and Palaeolithic Modern Humans.	

1. 著者名 門脇誠二	4. 発行年 2020年
2. 出版社 朝日新聞出版	5. 総ページ数 7-52(268)
3. 書名 「現生人類の出アフリカと西アジアでの出来事」『アフリカからアジアへ 現生人類はどう拡散したか』	

1. 著者名 門脇誠二	4. 発行年 2020年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 第1章(336)
3. 書名 「人類最古のビーズ利用とホモ・サピエンス 世界各地の発見から」『ビーズでたどるホモ・サピエンス史』	

1. 著者名 門脇誠二・廣瀬允人・須賀永帰・S. マサデ・D. ヘンリー	4. 発行年 2020年
2. 出版社 日本西アジア考古学会	5. 総ページ数 140(26-30)
3. 書名 「ホモ・サピエンスの拡散・定着期における文化動態 南ヨルダン、カルハ山の旧石器遺跡調査(2019年)」『第27回西アジア発掘調査報告会報告集』	

1. 著者名 野林厚志	4. 発行年 2019年
2. 出版社 国立政治大学原住民族研究中心	5. 総ページ数 208-225()
3. 書名 「台湾原住民族の生態資源獲得の技術に関する研究－狩猟方法を中心に」『第12回台日原住民族研究論壇』	

1. 著者名 野林厚志	4. 発行年 2020年
2. 出版社 昭和堂	5. 総ページ数 241-255(336)
3. 書名 「台湾原住民族の文化の多様性 ピーズにみる過去と現在」『ピースでたどるホモ・サピエンス史 美の起源に迫る』	

1. 著者名 近藤康久	4. 発行年 2019年
2. 出版社 勉成出版	5. 総ページ数 263-274(850)
3. 書名 「考古学におけるGIS」『文化情報学事典』	

1. 著者名 Romagnoli, F., Y. Nishiaki, F. Rivals, and M. Vaquero (eds.)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Oxford: Elsevier Ltd.	5. 総ページ数 96
3. 書名 Time uncertainty, site formation Multidisciplinary Approaches in the Definition of High-resolution Events to Interpret Past Human Behaviour: A New Challenge in Archaeology. Quaternary International 474	

1. 著者名 Nakata, I., Y. Nishiaki, T. Odaka, M. Yamada, and S. Yamada (eds.)	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本オリエント学会	5. 総ページ数 290
3. 書名 Prince of the Orient: Ancient Near Eastern Studies in Memory of H. I. H. Prince Takahito Mikasa. Orient, Supplement I.	

1. 著者名 三國博子・清田 馨・佐々木猛智・池田 博・西秋良宏（編）	4. 発行年 2018年
2. 出版社 東京大学総合研究博物館	5. 総ページ数 173
3. 書名 東京大学総合研究博物館所蔵小堀巖教授旧蔵沙漠誌コレクション目録 第2部 自然地理資料（標本資料報告第117号）	

1. 著者名 Nishiaki, Y. and F. Guliyev	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Paris: CNRS	5. 総ページ数 530(471&#8211;483)
3. 書名 Near Eastern Lithics on the Move: Interaction and Contexts in Neolithic Traditions.	

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Tokyo: Rokuichi-Shobo	5. 総ページ数 362(179-189)
3. 書名 Decades in Deserts Essays on West Asian Archaeology in Honor of Professor Sumio Fujii	

1. 著者名 西秋良宏・A. ザイナロフ・M. マンスロフ・下釜和也・赤司千恵・新井才二・桐原弘亘	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本西アジア学会	5. 総ページ数 118(8-11)
3. 書名 第26回西アジア発掘調査報告会	

1. 著者名 西秋良宏・O.アリプジャンフ・R. スレイマノフ・O.エンゲシェッド・B. セイフライエフ・E.グロディー ヴァ・仲田大人・新井オニ・野口淳	4. 発行年 2019年
2. 出版社 日本西アジア学会	5. 総ページ数 118(37-40)
3. 書名 第26回西アジア発掘調査報告会	

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Oxford: Archaeopress	5. 総ページ数 464(125-132)
3. 書名 Archaeological Explorations in Syria 2000-2011	

1. 著者名 Akazawa, T. and Y. Nishiaki	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Oxford: Archaeopress	5. 総ページ数 464(5-12)
3. 書名 Archaeological Explorations in Syria 2000-2011	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2018年
2. 出版社 放送大学教育振興会	5. 総ページ数 300(23-42)
3. 書名 新訂考古学	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2018年
2. 出版社 放送大学教育振興会	5. 総ページ数 300(261-280)
3. 書名 新訂考古学	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2018年
2. 出版社 岡山市オリエント美術館・古代オリエント博物館	5. 総ページ数 230(22-23, 184)
3. 書名 シルクロード新世紀	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2019年
2. 出版社 東京大学総合研究博物館	5. 総ページ数 159
3. 書名 アジアにおけるホモ・サピエンス定着プロセスの地理的編年的枠組み構築 2018年度研究報告	

1. 著者名 Tara Beuzen-Waller, Friederike Stock, Yasuhisa Kondo (eds.)	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Elsevier	5. 総ページ数 210
3. 書名 Geoarchaeology: A toolbox for revealing latent data in sedimentological and archaeological records. Quaternary International, 483	

1. 著者名 Nishiaki, Y., Y. Kanjou and T. Akazawa	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Universite de Liege	5. 総ページ数 386(295-304)
3. 書名 Vocation Prehistoire Hommage Jean-Marie Le Tensorer, ERAUL 148	

1. 著者名 Nishiaki, Y. and M. Le Miere	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Oxford: Oxbow Books	5. 総ページ数 196(43-54)
3. 書名 The Emergence of Pottery in West Asia: The Search for the Origin of Pyrotechnology	

1. 著者名 Akazawa, T. and Y. Nishiaki	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Cambridge: Cambridge University Press	5. 総ページ数 784(307-314)
3. 書名 Quaternary of the Levant: Environments, Climate Change, and Humans	

1. 著者名 Nishiaki, Y. and T. Akazawa	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Singapore: Springer Nature	5. 総ページ数 218 (1-8)
3. 書名 The Middle and Upper Paleolithic Archeology of the Levant and Beyond	

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Singapore: Springer Nature	5. 総ページ数 218 (71-86)
3. 書名 The Middle and Upper Paleolithic Archeology of the Levant and Beyond	

1. 著者名 Kondo, Y., K. Sano, T. Omori, A. Abe-Ouchi, W.-L. Chan, S. Kadowaki, M. Naganuma, R. O'ishi, T. Oguchi, Y. Nishiaki and M. Yoneda	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Singapore: Springer Nature	5. 総ページ数 218 (199-212)
3. 書名 The Middle and Upper Paleolithic Archeology of the Levant and Beyond	

1. 著者名 西秋良宏・O.アリプジャンフ・R. スレイマノフ・O.エンゲシェッド・仲田大人	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本西アジア考古学会編	5. 総ページ数 127 (58-61)
3. 書名 考古学が語る古代オリエント-第25回西アジア発掘調査報告会	

1. 著者名 西秋良宏・F.キリエフ・A.ザイナロフ・M. マンスロフ・下釜和也・仲田大人・赤司千恵・新井才二・池山史華	4. 発行年 2018年
2. 出版社 日本西アジア考古学会編	5. 総ページ数 127 (22-24)
3. 書名 考古学が語る古代オリエント-第25回西アジア発掘調査報告会	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2017年
2. 出版社 帝京大学文化財研究所・帝京大学シルクロード総合学術研究センター編	5. 総ページ数 100 (1-4)
3. 書名 第一回シルクロード学研究会報告集	

1. 著者名 西秋良宏	4. 発行年 2017年
2. 出版社 帝京大学文化財研究所・帝京大学シルクロード総合学術研究センター編	5. 総ページ数 96 (3-4)
3. 書名 2016年度中央アジア遺跡調査報告会資料集	

1. 著者名 原隆一・南里浩子・西秋良宏	4. 発行年 2017年
2. 出版社 東京大学総合研究博物館	5. 総ページ数 101
3. 書名 大野盛雄教授旧蔵人文地理資料目録 東京大学総合研究博物館標本資料目録第115号	

1. 著者名 Nishiaki, Y. and T. Akazawa	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Singapore: Springer Nature	5. 総ページ数 218
3. 書名 The Middle and Upper Paleolithic Archeology of the Levant and Beyond	

1. 著者名 西秋良宏・三國博子	4. 発行年 2017年
2. 出版社 東京大学総合研究博物館	5. 総ページ数 145
3. 書名 小堀巖教授旧蔵沙漠誌コレクション目録第1部：考古民族資料 東京大学総合研究博物館標本資料目録第111号	

1. 著者名 近藤康久	4. 発行年 2017年
2. 出版社 千葉大学リモートセンシング研究センター	5. 総ページ数 140 (85)
3. 書名 Annual Report 2016	

1. 著者名 近藤康久・小口 高・早川裕式・片岡香子・三木健裕・黒沼太一	4. 発行年 2018年
2. 出版社 公益財団法人国土地理協会	5. 総ページ数 278 (163-176)
3. 書名 学術研究助成報告集 第3集	

1. 著者名 Akazawa, T. and Y. Nishiaki	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Cambridge University Press	5. 総ページ数 373 (307-314)
3. 書名 Quaternary Environments, Climate Change, and Humans in the Levant, edited by Y. Enzel and O. Bar-Yosef	

1. 著者名 Nishiaki, Y.	4. 発行年 2016年
2. 出版社 Oxford: Archaeopress	5. 総ページ数 460 (69-71, 76-79)
3. 書名 A History of Syria in One Hundred Sites, edited by Y. Kanjou and A. Tsuneki	

1. 著者名 Nishiaki, Y. and S. Kume (eds.)	4. 発行年 2017年
2. 出版社 Kokushikan University	5. 総ページ数 126
3. 書名 Rafidan special issue: Papers in Honor of Professor Katsuhiko Ohnuma on the Occasion of His Seventieth Birthday	

1. 著者名 近藤康久	4. 発行年 2017年
2. 出版社 文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究(研究領域提案型) 2016-2020年度「パレオアジア文化史学 アジア新人文化形成プロセスの総合的研究	5. 総ページ数 61 (23-30)
3. 書名 パレオアジアデータベース鼎談 in PaleoAsia Project Series 5 A03 2016年度研究報告書	

1. 著者名 近藤康久	4. 発行年 2017年
2. 出版社 文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究(研究領域提案型) 2016-2020年度「パレオアジア文化史学 アジア新人文化形成プロセスの総合的研究	5. 総ページ数 122 (10-26)
3. 書名 パレオアジア文化史学オープンデータポータルの基本構想と遺跡データベースの仕様 in PaleoAsia Project Series 6 A01 2016年度研究報告書	

〔産業財産権〕

〔その他〕

パレオアジア文化史学 - アジア新人文化形成プロセスの総合的研究 -  
<http://paleoasia.jp/>  
 門脇誠二研究室 名古屋大学大学院 環境学研究科 地球惑星科学系 地球史学講座 (博物館)  
<http://www.num.nagoya-u.ac.jp/outline/staff/kadowaki/laboratory/index.html>  
 パレオアジア文化史学 北川研究室  
<http://leis21.net/paleoasia/>  
 人類集団の拡散と定着にともなう文化・行動変化の文化人類学的モデル構築 (2016-2020)  
<http://www.minpaku.ac.jp/research/activity/project/other/kaken/16H06411>  
 人類集団の拡散と定着にともなう文化・行動変化の現象数理的モデル構築  
[http://paleoasia.jp/research\\_projects/b02/](http://paleoasia.jp/research_projects/b02/)

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	近藤 康久  (Kondo Yasuhisa)  (90599226)	総合地球環境学研究所・研究基盤国際センター・准教授   (64303)	

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	門脇 誠二  (Kadowaki Seiji)		
研究協力者	北川 浩之  (Kitagawa Hiroyuki)		
研究協力者	野林 厚志  (Nobayashi Atsushi)		
研究協力者	若野 友一郎  (Wakano Yuichiro)		

## 6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究協力者	矢口 まゆみ  (Yaguchi Mayumi)		
研究協力者	小野 昭  (Ono Akira)		
研究協力者	木村 賛  (Kimura Tasuku)		
研究協力者	内堀 基光  (Uchibori Motomitsu)		
研究協力者	デネル ロビン  (Dennell Robin)		

## 7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計12件

国際研究集会 The 9th International Conference of the Pre-Pottery Neolithic Chipped and Ground Stone Industries of the Near East (PPN9)	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 "International Workshop: Early Farming Societies of the Southern Caucasus: 10 Years of Archaeological Discoveries of Japanese and French Expeditions"	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 国際ワークショップ：新石器時代のアナトリア	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 日本地球惑星科学連合2019年大会	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 International Workshop: Mathematical Modeling and Statistical Analysis of Cultural Datasets	開催年 2020年～2020年

国際研究集会 21st Indo-Pacific Prehistory Association Conference	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 PaleoAsia2018 International Workshop	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 The 18th UISPP-Paris2018	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 International workshop “Theoretical Models of Cultural Evolution during Modern Human Dispersals”	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 International Workshop “Across the Movius Line Cultural Geography of South and Southeast Asia in the Late Pleistocene”	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 Biological and cultural transitions in the Middle and Upper Palaeolithic in West Asia: Perspectives from PaleoAsia	開催年 2017年～2017年
国際研究集会 development of Paleolithic archaeology in Central China	開催年 2016年～2016年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関			
ウズベキスタン	国立歴史博物館			
中国	北京大学考古文博学院			
イラン	国立歴史博物館			
米国	タルサ大学			
モンゴル	モンゴル科学アカデミー 歴史学考古学研究所			
アゼルバイジャン	アゼルバイジャン考古学民族学研究所			
カザフスタン	国立博物館			
オマーン	オマーン遺産文化省			
カザフスタン	カザフスタン科学アカデミー 歴史学考古学研究所			
タジキスタン	タジキスタン科学アカデミー 歴史学考古学研究所			
ベトナム	ホーチミン地理資源研究所			
ヨルダン	ヨルダン古物博物館総局			